

事務事業名 麦出荷者部会運営費補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：427

施策：	05	農林業の振興	財務コード	01050104-06-00
基本事業：	04	消費者が求める農産物の供給	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	農産物直販所における販売高 学校給食へ納入された食材の額		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和63年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
JA筑紫麦出荷者部会			麦作技術の向上を目的に組織された麦出荷者部会の活動を支援するため補助金を交付する。 < 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告 < 活動内容 > 品質向上対策（土壌診断・ほ場現地調査）、研修会実施 ・JA全農ふくれん麦部会現地視察研修会 ・播種前研修会 ・福岡の麦・大豆生産者研修会 ・中間管理講習会 ・管内現地ほ場視察研修会					
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）					
麦出荷者部会員の技能が向上するとともに、麦の品質向上、規模拡大及びコスト低減等が図られている。								
成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
検査数量	俵	22,697	18,888	23,000	23,000			23,000
会員数	人	45	45	50	55			60
5. コスト								
事業費	計	千円	220	220	220	220		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	220	220	220	220			
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1	0.1			
正職員人件費	千円	807	803	792				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,027	1,023	1,012	220			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > 検査数量は減少、会員数は横ばいとなっている。 < 原因 > 検査数量は、天候等の影響で毎年出来不出来の差があり、会員数は、高齢化による減少と新規加入が伸び悩んでいるため。 < 課題 > 実需者の求める数量と品質を保つため、生産技術の向上と圃場条件の改善に取り組む必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	会員の高齢化が進む一方で、新規会員の加入が進まないことが課題となっている。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
補助を継続する場合は、補助対象経費を明確にするため、補助金交付要綱等の整備を行う。 新規加入者の増加を図るため、JA筑紫と連携して部会の活動の周知を図っていく。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
高品質麦の生産・規模拡大及び生産コストの低減等に取り組むとともに、視察研修を重ね麦作の振興を図る。				高品質麦の生産により販売の競争力が高まる。				